

“もっと”いい和盲に!



校内弁論大会を開催しました

5月29日(木)に「校内弁論大会～私からのメッセージ～」を開催しました。この大会は自分の考えを発表する過程を通して、自己を発見したり、他者の意見を聞くことにより、自己の考えを広めたりすることを目的に毎年取り組んでいます。

この日は「弁論」と「フリートーク」の2つのテーマそれぞれに中学部・高等部の8名が参加しました。大会当日まで、推敲を重ねた原稿には、自分の将来の夢や葛藤、自分の好きなこと、自分で計画した校外学習の経験など一人一人の想いがぎっしりと詰め込まれていました。

今回、1位となった専攻科の生徒の演題は「見えなくなって、より見えてきたこと」。30代の生徒が今までの人生を振り返る内容に、大きな感動が会場に広がりました。

今回1位・2位となった生徒は6月19日に奈良県で開催される近畿大会に出場することになります。



育友会企画第1弾！クラフト教室＆給食試食会

育友会企画第1弾！5月27日(火)にクラフト教室＆給食試食会を行いました。2025年は点字考案200周年の節目です。クラフト教室では、不要になった点字紙を再利用して紙袋を作りました。作業中は和やかな雰囲気で、保護者の皆さんと笑顔で交流していました。こどもの話や最近ハマっているドラマの話など、様々な話題で盛り上がりました。



給食試食会では、昨年度高等部の生徒が考案した「くじらの和盲ソース」を試食しました。初めて鯨肉を食べた方からも、「もっと固いかと思っていたけれど、やわらかくておいしい」と大好評でした。

保護者からは、「わきあいあいとして楽しかったです」「また参加したいです」



「給食も美味しかったです」「今度はビビンバを試食してみたいですね」という声がきかれました。今後もみんなさんの意見を取り入れながら、より良いイベントを企画していきたいと思います。

「学校にはいろんなお仕事があるんだなあ」

好奇心いっぱいの6年生。校務員さんが網戸の張り替え作業をしていると、何をしているのか興味津々。

サッシの枠を見たり触ったりして、「網」がなくなっていることを確認して、「なんで張り替えるの？」と質問もできました。虫が入らなくなることや風が入って気持ちよくなることを教えてもらうと、日頃の窓開けのお仕事との関連へと考えが広がります。学校の中のいろんな経験がこどもたちの『キャリア教育』につながっていきます。



どんな道具を使っているの？発見がいっぱいです

真剣な表情でサッシの枠を両手で確認中